

国家はなぜ嘘をつくのか。

加計学園問題で
核心をつく発言をした

前川喜平さんは、

どのように
良心に基づく
行動をしたのか？

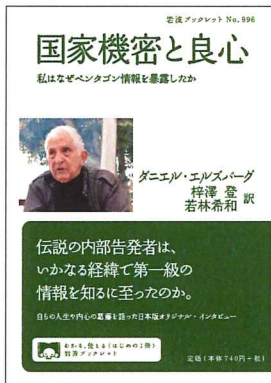
政府の虚偽を知った時、
官僚は一人の人間として
どう行動すべきか。

良心的告発を
受け入れる。

NGOの活動経験や
新外交イニシアティブの活動で
米国のリアリティーを知る
猿田佐世弁護士。

報道するメディアや
自由を守る上で
存在感のある
司法の現状を語る。

ベトナム戦争の真っ最中に戦争の真実を語る政府文書をメディアに明かしたエルズバーグ氏は、その勇気をいかにして蓄積し、良心をふるいたさせたのか。「国家機密と良心」(岩波ブックレット)で語っています。



インタビューを企画した梓澤和幸弁護士が彼の信条、人となりを、スライドを用いて紹介します。

元文科省事務次官
自主夜間中学スタッフ

前川喜平さん × 猿田佐世さん × 梓澤和幸

2019年12月13日(金) 18時30分開演(18時受付)

[会場]お茶の水ブックカフェ「エスパス・ビブリオ」

[住所]〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7-10 B1F [TEL]03-6821-5703

[入場料]1,500円(学生500円・高校生以下無料)

[主催]エルズバーグ実行委員会、NPJ(News for the People in Japan)

[後援]岩波書店 [協力]エスパス・ビブリオ [連絡先]エルズバーグ実行委員会(東京千代田法律事務所内)

[TEL]03-3255-8877 [FAX]03-3255-8876 [メール]k.azusawa@azusawa.jp



前川喜平

現代教育行政研究会代表、東京大学法学部卒業、文部省に入省。大臣官房長、初等中等教育局長などを経て、2016年文部科学省事務次官。2017年退官。現在、福島市と厚木市の自主夜間中学でスタッフを務める。現代教育行政研究会代表。著書に『面腹腹背』(毎日新聞出版)、『前川喜平「官」を語る』宝島社、他



猿田佐世

ND(新外交イニシアティブ)代表・弁護士(日本・ニューヨーク州)・立教大学講師・沖縄国際大学特別研究員、早稲田大学法学部卒業後、コロンビア大学ロースクールにて法学修士号取得。アメリカ在留中、国際NGOヒューマン・ライツ・ウォッチのコンサルタントとして活動。外交・政治問題について米議会等でロビーイングを行う。著書に『新しい日米外交を切り拓く』(集英社クリエイティブ・2016年)他